

Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

2018年度APU・大分合同新聞講座

地方創生と日本の未来

5/26・6/9・7/7

sat. 11:45~12:30

sat. 13:00~14:30

sat. 13:00~14:30

主催

立命館アジア太平洋大学

共催

大分合同新聞社

後援

大分県、大分県教育委員会、別府市、別府市教育委員会

会場

宗麟館、立命館アジア太平洋大学

定員

各回50名(先着順)

参加費用

無料

高校生から大人の方まで大募集!

地方創生と日本の未来

第1回

5月26日(土) 11:45～12:30 ※11:15開場

会場: APU

申込み〆切日▶5月17日(木)正午まで

〈講師〉

出口 治明

(立命館アジア太平洋大学 学長)

1972年京都大学法学部卒、日本生命保険相互会社入社、2008年ライフネット生命保険株式会社を創業し、社長、会長を務める。国内私大ではほぼ初となる公募で選ばれ、2018年1月より現職。



テーマ 概要 日本の未来を考えよう

様々なメディアを通じて不安を煽る情報が多く流れ、将来は暗いと考えられる日本人が多いと思います。でも、日本の未来は明るいと私は思います。なぜなら、日本のありのままの姿をきちんと「知る」ことから明るい未来がはじまるからです。過去という時間軸・歴史軸「タテ軸」と現状の世界という空間軸・世界軸「ヨコ軸」に具体的なデータ「数字」の「タテ・ヨコ・算数」を使って皆さんに考えるきっかけができればと思います。

第2回

6月9日(土) 13:00～14:30 ※12:30開場

会場: 宗麟館

申込み〆切日▶5月31日(木)正午まで

〈講師〉

牧田 正裕

(国際経営学部 教授)

- 担当講座: サービスマネジメント、会計学、他
- 学位(博士): 博士(経営学)、立命館大学
- 研究内容: 会計学、サービス経営、地域イノベーションシステム



テーマ 概要 戦後史からみた大分 ひと・まち・しごと創生へのヒント

大分県では、1980(昭和55)年に全国初の人口動態調査が行われるなど、人口問題はかなり前から認識されていました。それゆえ、「地方創生」のための方策を考えるには、戦後の大分の歩みを振り返り、何によって「現在(いま)」が形づくられているのか、十分に理解しておく必要があります。こうした観点から、人口や産業からみた大分県の特徴を明らかにし、ひと・まち・しごとに関わる課題をどのように解決していくのか、そのヒントを探ります。

第3回

7月7日(土) 13:00～14:30 ※12:30開場

会場: 宗麟館

申込み〆切日▶6月28日(木)正午まで

〈講師〉

久保 隆行

(アジア太平洋学部 准教授)

- 担当講座: 観光学入門、観光開発、他
- 学位(博士): 博士(経済学)、中央大学
修士(建築学)、コーネル大学
- 研究内容: 都市・地域経済、都市・地域政策、都市・地域計画



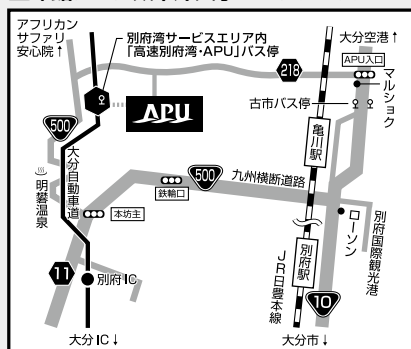
テーマ 概要 インバウンド指標にみる 大分の国際観光競争力と将来の課題

日本を訪問する外国人旅行者「インバウンド」の数は、近年日本国内で成長している数少ない指標の一つです。しかし、「インバウンド」もまた、人口や経済活動と同様に、日本国内の特定地域に集中しています。大分県は幸い、「インバウンド」の獲得においては現時点では全国で「勝ち組」であるものの、県内では全国と同様な不均衡が発生しています。県内に眠る「おおいた遺産」を活用し、地域のすみずみまで「インバウンド」を誘客する方策が、大分県全体の持続的発展のために求められています。

大分銀行宗麟館へのアクセス



立命館アジア太平洋大学へのアクセス



申し込み方法

各回講座の締切日までに、住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス・受講希望講座を記入し、Web、FAX、Eメールにてお申込みください。定員を上回った場合は、ご連絡させていただきます。

申し込み・問い合わせ先

立命館アジア太平洋大学
APU・大分合同新聞講座係

Email apukouza@apu.ac.jp
URL https://goo.gl/7g5tMd
TEL 0977-78-1315 (平日10時～17時まで)
FAX 0977-88-5953 (24時間対応)

QRコード読みとり機能のある携帯電話をお持ちの方は、こちらからお申込み可能です。

